東北大学

文部科学大臣認定教育関係共同利用拠点
食と環境のつながりを学ぶ　複合生態フィールド教育拠点

「フィールド環境学」

2泊3日で単位取得可能※（2016年9月14日～16日）

東北大学のフィールドで一緒に学びませんか？

対象：大学学部1~4年生（専門を問いません）
※ 学都仙台コンソーシアム・単位互換ネットワーク登録科目

有機栽培水田の調査

放牧牛の観察

水質調査

森林でのキノコ調査

牛の給餌体験

食料生産が環境によって支えられていること、その恩恵を受けて人間が生活できていること、また食料生産をはじめとする人間活動が環境に影響を及ぼしていることを、わが国随一の規模を誇る東北大学・川渡フィールドセンターで学びます。　広大なフィールドで体感することを通して、環境問題について自分の力で考える能力を養成します。

科目の概要

フィールド講義

植物・動物・微生物などの生き物、あるいは土壌や水質などの環境を専門とする教職員が、**水田と稲**、**牧草地と畜産**、**農林畜産業と水**、**森林の生き物の多様性**、**牛肉・牛乳と食育**などについてフィールドで作物や家畜に触れながら講義を行います。

課題研修

５つのグループに分かれて、それぞれのテーマについてフィールド調査・実習を行います。調査・実習の結果をグループごとに報告し、議論を通して、食を支える環境について学習を深めます。

2015年度の各コースのテーマは、「土壌と農業の大切さを社会に伝える：土と農業をプロデュースする」「牛の飼料摂取について調べる」「農林水産業に関わる水の水質を調べる」「森のキノコを探る」「いのちのつながりを感じながら…」でした。今年度のテーマは検討中です。

スケジュール

9月14日(水)　昼前に川渡フィールドセンター集合、ガイダンス、フィールド講義
9月15日(木)　フィールド講義、各グループに分かれて調査・学習
9月16日(金)　各グループでの調査まとめ、学習結果報告と「食と環境」について論議　（夕方解散）

費用

宿泊・食費：約5,000円(14日昼食~16日昼食)、別途交流会の費用

履修申し込み

学都仙台コンソーシアム・単位互換ネットワークの登録科目です。単位取得を希望する学都仙台コンソーシアム加盟校の学生は、在籍する大学の担当窓口へ申し込みして下さい。その他の大学・高等専門学校の学生は、川渡フィールドセンター・共同利用担当(TEL0229-84-7311)へ申し込んで下さい。申し込み期限は、各大学の担当窓口で問い合わせてください。

東北大学・復興農学センター

東北復興農学センターが当フィールドセンターで開講している「復興農学フィールド実習」では広く他大学の学生の受講を募集しています（詳しくはホームページでご確認ください）

http://www.rac.agri.tohoku.ac.jp/curriculum/

東北大学・川渡（かわたび）フィールドセンター

お問い合わせ　教育関係共同利用担当
TEL：0229-84-7311，Mail：Kyodou-riyou@grp.tohoku.ac.jp

アクセス
「仙台からJR」　仙台～(東北本線)～小牛田～(JR陸羽東線)～川渡温泉
仙台～(東北新幹線)～古川～(JR陸羽東線)～川渡温泉

http: //www.agri.tohoku.ac.jp/noujou/index.html